

吉田集落

屋久島の北北西岸に位置する吉田。世帯数は 90 戸ほどで、村人たちの結びつきが深い小さな集落です。イカとサバが海の二大特産品で、陸では、柑橘系のポンカン、タンカン、キンカン、グアバのほか、ガジュツ（ガゼツ、紫ウコン）やタロイモ、ヤマイモなどの根菜作物が海へと続く急峻な斜面に栽培されています。最高峰を見上げるように屋久島の外周に並ぶ山々の一角を成すのが、吉田岳です。標高 1,165 メートルで、海を臨み、すばらしい景色が楽しめます。1185 年、国内の覇権争いの合戦で敗れたあと、平家がこの吉田の土地を拠点として活用したのも、この地形に理由があります。それ以来、神道神話の主神である天照大御神が宿る場所として崇められています。風光明媚な吉田集落は、巨大な花崗岩があることでも有名で、1,400 万年前に屋久島を形成した甚大な地質パワーの痕跡を写真に収められる絶景スポットです。良く晴れた日の夕方に訪れると、夕陽の絶景も見られるので、楽しみがさらに膨らみます。